

1、バレンタインデーの由来

- ・バレンタインデーはSt Valentine's Dayと言い、直訳すると「聖バレンタインの日」
- ・バレンタインは、3世紀ごろローマに実在したキリスト教の聖職者・ウァレンティヌス（英語読みでバレンタイン）
- ・当時ローマでは、家族の恋しさを理由に士気が下がることを恐れた皇帝クラウディウス2世によって、兵士の結婚が禁止されていたが、悲しむ兵士たちを憐れんだウァレンティヌスはこの令に背き、結婚を望む恋人たちに密かに結婚式を執り行っていた。
- ・しかし、その事実が皇帝に知れてしまい、ウァレンティヌスは投獄されてしまった。さらに、当時のローマではキリスト教が迫害され、ローマ国教が信仰されていたため、皇帝はウァレンティヌスに罪を認めさせるだけではなく、改宗をも迫ろうとした。この命令に応じず、獄中でも変わらず神の愛を説き続けたバレンタインは、269年2月14日にととうと処刑されてしまう。
- ・その後、ウァレンティヌスは恋人たちの守護聖人として崇められ、2月14日を聖バレンタインの日として祝うようになった。

・この時代のローマでは、聖ウァレンティヌスが処刑されるより前から、2月14日にルペルカーリアという祭が行われていた。その内容は、若い未婚女性の名前を紙に書き、それを集めて翌日に未婚の男性がくじのように引いて、あたった娘とこの祭の間、時には翌年のくじびきまでの1年間交際するというものだった。

・ローマ国教よりもキリスト教が優勢になった496年になって、その内容が風紀を乱すとしてキリスト教下ではこれが禁止され、代わりにくじびきで様々な聖人を奉る行事へと改変された。その時に、約200年前の同じ日に殉教したキリスト教の聖者ウァレンティヌスを祭る行事となった。

・やがてこの行事は、恋人同士が贈り物やメッセージカードを、互いに交換するという内容になっていった。

2、日本と世界のバレンタイン

- ・「女性が男性にチョコレートを贈る日」として定着しているバレンタインデーは、実はこれは日本独自の文化。
- ・アメリカでは、男性から女性に向けて花とカードを贈るのが主な習慣となっている。
- ・ヨーロッパ各国では、カップルでお互いにプレゼントを贈り合うことが多い。
- ・イギリスの老舗チョコレート会社キャドバリー社が19世紀後半から販売を始めた「バレンタインデー用のチョコレートボックス」に着想を得て、1936年に神戸の洋菓子店「モロゾフ」が、東京で発行されていた英字新聞の『ザ・ジャパン・アドバタイザー』に新聞広告で、「バレンタインデーにチョコレートを」という新聞広告を掲載し、チョコレートを贈ることを提唱したのがバレンタインデーの始まりと言われている。
- ・世界各地で様々な形で大切な人を想う日、愛を伝える日となっている

3、キリスト教における愛とは何か

- ・キリスト教の教えの核心には「愛」があると言える。
- ・イエス・キリストはユダヤ人であり、ユダヤ教を信仰していた。ユダヤ教は神に救われるための条件が「戒律を守ること」とされており、「戒律の宗教」と言われている。
- ・ユダヤ教の聖典である旧約聖書には「律法」と呼ばれる細かい規則が多く書かれていて、人々はこれを守らないといけないとされていた。
- ・当時のユダヤ社会・上層部にいるエリート階級の間人はこれらの規則をしっかりと守っていたが、日々の生活を維持するだけで精一杯の貧しい人は守る余裕はなかった。こうして規則を破るものは、「罪人」と呼ばれ、差別され軽蔑されていた。
- ・ユダヤ社会は「規則を守ることができ、神に救われる人」と「規則を守ることができず、神に救われない人」という二極化が生じた。
- ・本来、律法の中には、“貧民救済法”と呼べるようなさまざまの条項や、“弱者保護法”、“外国人保護法”、“奴隷虐待金止法”、そのほか“安息法”“裁判の公正維持法”“温情法”と呼べるものなどがある。つまりは、弱者を守るという血の通った温かい面もある。

- ・しかし、当時の律法学者や祭司などのエリート集団は、そのような意味合いを次第に忘れていき、律法を遵守することばかりに囚われていた。（律法主義）
- ・「わたしが来たのは律法や預言者を廃止するためだ、と思っはならない。廃止するためではなく、完成するためである。」（マタイによる福音書5：17）
- ・イエスは最も重要な掟は何か？と問われ、「『心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい、また、隣人を自分のように愛しなさい』と答えている。これは、旧約聖書「あなたは心を尽くし、魂を尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛しなさい（申命記6：5）、「自分自身を愛するように隣人を愛しなさい」（レビ記19：18）からの引用。
- ・イエスが旧約聖書を引用して唱えた愛には2種類ある。1つは「神に対する愛」、もう1つは「隣人愛」。
- ・イエス自身も最後の晩餐の席で、「あなたがたに新しい掟を与える。互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。」（ヨハネによる福音書13:34）と言われている。

4、4つの愛がある。

i. ストルゲー στοργή storgē

親子や兄弟の間の家族愛のことを指す。血縁に基づいた強い家族愛を表す愛の概念。

ii. エロス έρως érōs

本能的な愛、肉体的な愛。異性を愛おしく想い、最終的にその相手と結ばれることを求める心。分かりやすく言えば”恋”に近い。

iii. フィリア φιλία philía

日本語ではよく兄弟愛と翻訳されている。この場合の兄弟とは、血のつながりのある本当の兄弟ではなく、友人や仕事の仲間などを指す。友人の間での友情、信頼や結束、連帯感などを表す概念。

iv. アガペー αγάπη agápē

無条件の愛、無償の愛を意味している。神の人間に対する愛。